

中泊119

「避難訓練」 内潟療護園

平成17年7月号

火事/救急/救助は
119番

病院照会
57-4999番

中里消防署
57-2370番

小泊消防署
64-2375番

山岳救助訓練実施

6月7日に内潟療護園で避難訓練が行われました。避難誘導訓練では、夜間に火災が発生したことを想定し、迅速かつ安全に避難していただきました。

消火訓練では、消防署員から消火器の使用方法についての説明があつた後、職員5名に実際に消火器を使つての消火訓練を行つてもらいました。

また、放水訓練では、屋内消火栓を使い、ホースを延ばし訓練しました。実際に水を出した事もあつて、水の圧力等を直に感じ体験できたとおもいます。



【放水訓練】



【消火訓練】



【避難誘導】

平成17年6月1日、3日、小泊山国有林592において、小泊消防署第一隊、二隊にてロープ展張、斜め引き上げ訓練を行いました。この訓練は、急斜面の下にいる要救助者を搬送担架を作成し救助する訓練です。

実際の現場でもスムーズに活動できるよう、小泊消防署員一同、日々努力し町民の力になれるように頑張つて行きますので、これからも宜しくお願いします。又、山菜採り、登山のシーズンになりましたが、それに伴い山岳遭難事故が発生しやすくなりますので、山に行き慣れた人でも気を引き締めて行くようにしましょう。(山中で迷つたらその場を動かないように)



山の事故に注意

○足を痛めてしまったら
・山中に入り、周りの風景に気をとられて思わず転倒してしま
い足を痛めてしまった時は、慌
てず冷静になることが大事です。
そして、無理に歩こうとせず
に次の応急処置をしましょう。

《応急処置》

足をしっかりと固定できるよう
な副木(そえ木)をさがし、痛
めている足に副木をそえタオル
などで縛り固定する。

山の遭難事故防止

毎年、山の遭難事故は後を絶ちません。遭難事故が発生しますと、大勢の人に心配や迷惑をかけてしまいます。入山する場合は次のことを守って下さい。

- 1、天気予報をよく確かめる。
- 2、着替え、簡易雨具、マッチライター、食料などを多めに持つ。
- 3、家族などに、山のコース、帰宅時間、同行者などを教えておく。
- 4、地理のわからない山には入らない。
- 5、天候が悪くなりそうな時は早めに下山する。
- 6、道に迷つたら無理に歩きまわらない。
- 7、もし、家族や友達が帰宅予定時刻を過ぎても帰らない時は、警察か消防署に連絡する。

